

町田市障がい児者自立支援研究・研修会便り NO. 13

2025年11月吉日

町田市障がい児者自立支援研究・研修会

代表 森 公男

【総会を開催しました】

10月14日（火）にぽっぽ町田会議室にて、Zoomを併用して総会を開催しました。

2024年度事業報告案として後半期の活動（成果）と決算案を報告するとともに、総会後の新年度事業計画案、予算案、役員体制案、会則変更案を審議し、ご承認をいただきました。

会則変更は、会費についてです。設立以降の会費について年度途中からの入会会員も支払いやすい方法に改善しました。詳しくは、ホームページに掲載してあります。学習会の会場費用など一定の支出を皆様よりお預かりした会費よりお支払いしています。会員の皆様からの会費は会の活動を支える重要な収入源となっていますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

【重い障がいや行動障害がある方利用できるグループホームについて】

9月26日（金）に町田市地域福祉部長に代表森と副代表田部井とで面会し、重い障がいや行動障害がある方利用できるグループホームの設置、運営に関する町田市による資金援助についての要望書を提出しました。要望書の趣旨は理解していただけていることを確認し、部長からは、「次の長期計画作成に於いて検討する」との返答を得ました。

町田市障がい者施策推進協議会で障がい者プラン27-32の作成作業が始まります。当会の意見を伝えるとともに計画への反映を求めていると考えています。

【町田市議会総務常任委員との懇談会を開催しました】

2025年9月29日（月）10:00～11:30 町田市役所で町田市議会総務常任委員の皆様との懇談会を持ちました。この委員会の所管は政策経営部、総務部、財務部、防災安全部、経済観光部、会計課、選挙管理委員会、監査委員、農業委員会、他の委員会に属さない事項となっています。

町田市障がい児者自立支援研究・研修会からの発言をご紹介します。

<防災について>

1 福祉避難所への直接避難について

障がいがあり避難所での避難生活に支障が想定される場合も、1次避難所へ避難した後、

2次避難所である福祉避難所へ避難することが基本的な原則となっています。

重症心身障がい児者が避難所までの移動に抱える困難さと、避難生活に欠かせない電源確保用備品などに不安があることについて、「きらり」の方が発言しました。

また、自閉症児者については、「つるかわ学園」からのメッセージを代表が代読しました。自閉症児者はいつもと異なる変化があると不安定になる傾向があったり、感覚が過敏な方も多く避難所は刺激過多であること。そして、自分を安定させるためにとる行動が奇異であるために理解をしてもらえず迷惑と思われることが心配なため、避難所での暮らしは困難と考える場合が多いことを説明しました。福祉避難所へ直接避難することを認めてもらうことと、避難所の情報の周知が必要であることを発言しました。

2 自宅避難者への支援

(1) 安否確認（当会の学習会から）について

個別避難計画には安否確認をする人の氏名を記載することになっていますが、ご本人と家族の高齢化により孤立化が進んでいる場合は、福祉とのつながりを作る為に個別避難計画作成を活用する視点を持つと良いことを学習会で話題にしていることを報告しました。

(2) 発災後の支援体制づくり

災害関連死を防ぐためにも、避難後の生活計画を作成する体制を検討するべきであり、服薬や日常的に必要なとされる合理的配慮に関する情報などを把握できるシステムが必要であることを田部井副代表が発言しました。避難後の生活計画検討方法についてどのような立場の人たちと検討すればよいかについて助言を求めたところ、1つの課では解決困難であり、関連する部署に声をかけるようにアドバイスをいただきました。

3 防災士の活用の検討

防災士同志のつながりが無いので、有効に活躍できる仕組みの検討をすることについて参加者が発言してくれました。

その他にも、事前アンケートからの意見として、「まちだ防災カレッジ」での出張防災セミナーの活用や防災アンバサダーに障がい者関係者になる案を紹介しました。

<選挙について>

投票所でサポートしてくれる方たちのサポートの方法が毎回異なることにより、本人も付き添う家族も戸惑う場面があること。投票所のバリアフリーについて複数の参加者が改善視点を発言しました。

【支援困難事例検討研修会2025第3回目を開催】

10月25日（土）9：30～11：45にZoomにて2025年度の支援困難事例検討研修会第3回目を開催しました。2事例を報告してもらい、参加者による意見交換を行いました。2事例ともに発達障害があるケースで親も高齢になっているため、親子の今後の暮らしに必要な支援として地域資源を活用していくソーシャルワークの視点と、ご本人への合理

的配慮を地域関係者と共有するための視点の両方が必要な点が共通していました。第4回目は、2026年1月31日（土）9：30～11：45です。Zoomでの開催になります。お気軽にのぞきにきてください。詳しい内容はHPに掲載します。

【学習会「就学前、学齢期障がい児の自立支援」を開催します】

2025年11月28日（金）10：00～11：45 ぽっぽ町田会議室とZoomのハイブリッド形式で開催します。

当日の資料は当会HP内〈資料集〉へ掲載します。ぜひご覧ください。

<https://machida-jiritsu.net/materials/>

【休日見学会のご案内】

障がい福祉サービス事業所の利用希望者向けに、休日でも見学することが可能な事業所と日時をまとめ、ホームページに掲載しています。

<https://machida-jiritsu.net/2025/06/09/299/>

【懇談会を開催しています】

懇談会を定期的に開催しています。当会の活動状況をお知らせするとともに、障がい福祉に関わる様々な話題について情報共有と意見交換をしています。5名前後のグループに分かれて、ざっくばらんにおしゃべりできる時間もあります。気になっていることや困っていること、毎回様々な話題が出ています。

会員以外の方も参加できます。途中からの参加、途中までの参加も自由です。一度覗いてみてはいかがでしょうか。お気軽にご参加ください。

＜参加方法＞ ハイブリッド開催

・オンライン（Zoom） ID：698 965 9800

パスワード：m-fukushi

・対面 せりがや会館4階サロン

＜今後の開催予定＞ 毎月第2火曜日 10：00～11：30に開催

【連絡先】 社会福祉法人まちのひ 法人事務局 瀧本・小黑

電話番号：042-794-6155

FAX：042-794-7252

メール：machidajiritsu@gmail.com

（自立支援研究・研修会専用メールアドレス）